

保護者の皆様へ

～ つながりの中で育つ子どもたちを支えて ～

四街道市では、「命の教育」の推進として、児童生徒の「思いやる心」「しなやかな心」「自尊感情」の育成に取り組んでいます。子どもたち一人一人が、自分も周りの人もかけがえのない存在であることを理解し、互いに尊重し合い、支え合うことの大切さを学べるよう、教育活動全体を通して指導を行っています。

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まります。2学期は、学習や学校行事、部活動などを通して、子どもたちが心も体も大きく成長する時期です。その一方で、人間関係や学習面での悩み、将来への不安など、心が揺れ動く場面も増える時期です。

私たち大人は、子どもたちが困ったときや迷ったときに、安心して頼れる存在であり続けることが大切です。日々の会話やちょっとした表情の変化から子どもの気持ちを感じ取り、「あなたのことを大切に思っている」「いつでも味方だよ」というメッセージを伝えていただければ幸いです。その安心感が、子どもたちに前へ進む力を与えます。

お子様の様子が普段と違うと感じたり、気になることがあったりした場合には、迷わず学校へご相談ください。家庭と学校、地域が連携し、早期に支援することが、子どもの心の負担を軽くし、笑顔を取り戻す大きな力になります。また、裏面にある「相談窓口」の利用も、問題解決へつながる手立てになりますので、いつでもご活用ください。

子どもたちが、自分も仲間も大切にしながら安心して学び、成長できるよう、今後ご家庭、地域、学校が一体となって支え合い、見守っていける環境を整えてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年8月

四街道市教育委員会教育長 府川雅司